

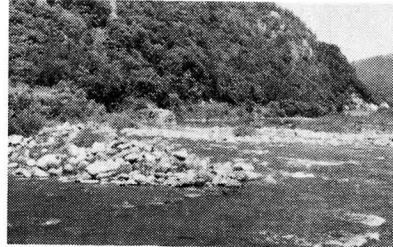
2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

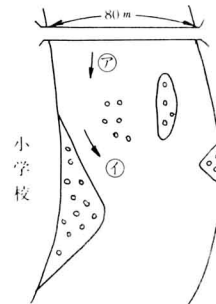
学校裏の伊南川

(2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

- ① 土手から川の全景をスケッチする。
- ② 川原や中州、水たまり、川岸のけずられている様子など、気付いたことを書き入れる。



- ③ 流れが大きく曲がっている場所で、川原のふちがけずられているのは、流れの曲がっている内側か、外側か。
- ④ 流れが大きく曲がっている内側には川原が見られますが、他の流れが曲がっている所でも調べてみよう。



(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

- ① ⑦、①付近で一定の距離をとって、流れの速さを測って比較してみよう。
- ② ⑦と①付近の川床を比較すると、①の付近では30～50cm大の大きなレキが川床にゴロゴロしており、流れも早瀬となって、上流の川の姿をしている。⑦の付近は川の中流のようすを示している。

(4) 川原のレキを調べる。

川原でのレキや砂のつもり方の平均的な所を選んで、1 m四方の方形枠を置く。

方形枠内に入っている、長径5 cm以上のレキをすべてビニルシート上に取り出す。(表面に見えるレキのみ)



① レキの大ききさで分ける。

レキの大ききさによって5～10cm, 10～15cm, 15cm以上に分け、その数を調べる。